©河北新報社 2021

河北新報

号外

発行所
仙台市青葉区五橋１－２－２８
河北新報社

河北新報
オンラインニュース

ご購読のお申し込みは
フリーダイヤル
0120-09-3746（オオク ミナヨム）

東北学院 初の甲子園

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
東北学院	0	0	0	0	8	0	0	0	4	12
仙台三	0	0	2	0	0	3	0	0	0	5

仙台三―東北学院　５回表東北学院１死満塁、伊東が左越えに２点二塁打を放ち、４―２と勝ち越す。投手小野、捕手藤原

宮城高校野球大会
仙台三に12―5

第１０３回全国高校野球選手権宮城大会は23日、石巻市民球場で決勝が行われ、東北学院が仙台三を12―5で破り、春夏を通じて初の甲子園出場を決めた。東北学院は宮城大会で過去8強が最高。初の決勝進出で頂点に立った。

東北学院は0―2の五回に適時打と1死満塁からの押し出し四球で同点。さらに伊東大夢が左越えに勝ち越しの2点二塁打を放つなど、この回計8点を奪って突き放した。投げても主戦伊東が反撃をしのいだ。

三回に相手守備の乱れに乗じて2点を先取した仙台三は主戦小野一裕が五回に崩れた。2―8の六回に3点を返したが及ばず、32年ぶり3度目の決勝進出で初制覇はならなかった。

全国選手権大会は8月9日に開幕する。